

小笠原ビジターセンター・大神山公園

OGASAWARA VISITOR CENTER



ニュース
レター
NEWS LETTER

ビジターセンターでの
イベント情報や
見ごろの植物情報など
旬な内容を平日は
毎日更新しています！



X(旧 Twitter) ホームページ



東京竹芝から南に約 1,000km。定期船「おがさわら丸」で約 24 時間のところに位置する「小笠原諸島」。おがさわら丸が停泊する父島に「都立大神山公園」があり、園内には小笠原諸島の歴史・文化・自然などの情報をたくさん揃えた「小笠原ビジターセンター」があります。無料リーフレットやインターネット「FREE SPOT」もありますので、お気軽にお立ち寄りください。

ビジターセンター TOPICS

特別展 「小笠原諸島 返還後の歩み」

～当時の様子を振り返る写真展～

第二次世界大戦中、小笠原の住民は強制疎開させられます。そして終戦後、欧米系島民が帰島し米軍の統治下となりました。1968 年に返還された当時の様子がわかる写真展です。

特別展 「もっと知りたい マッコウクジラ展」

～近くで見ることできるかな？～

小笠原では、おがさわら丸航路や外洋のウォッチング船でマッコウクジラを見ることができます。そのマッコウクジラの実物大イラストや骨を展示して生態を紹介しています。

～ビジターセンターでは物品を販売しています！～

キャッシュレス決済のみとなっていますので、ご注意ください。（現金での販売はしておりません。）

- ★ カプセルトイ
 - ・小笠原の生きもの缶バッジ 【500 円（税込）】
 - ・おがじろうキーホルダー 【500 円（税込）】
- ★ 小笠原の鯨類クリアファイル A4 【300 円（税込）】
- ★ 小笠原の植物フィールドガイドⅠ 【1100 円（税込）】
- ★ 小笠原の植物フィールドガイドⅡ 【1100 円（税込）】
- ★ 小笠原の植物フィールドガイドⅢ 【1100 円（税込）】

イベントの詳細は、別紙ポスターをご覧ください。



開館カレンダー

2026 年 7 月

開館日

開館時間
8:30～17:00

夜間
開館日

開館時間
8:30～21:00



日	月	火	水	木	金	土
6/28	29 出港	30	7/1	2 入港	3	4
			飛鳥Ⅲ			
5 出港	6	7	8	9 入港	10	11
12 出港	13	14	15	16 入港	17	18
			飛鳥Ⅲ			
19 出港	20 講演会 「小笠原の マッコウクジラ」	21	22 入出港 特別展 マッコウクジラ展 開始	23	24	25 入出港
26 ハカラメはがき	27	28	29 入出港 ミニガイドウォーク	30	31	8/1 入出港

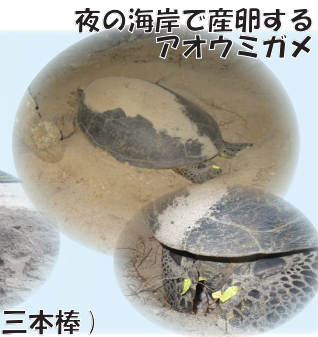
アオウミガメの産卵シーズンがピークを迎えます!!

アオウミガメの産卵は、6～7月が特に多くなる時期です。
また、7月には4～5月に産んだ卵からの稚ガメの孵化・脱出が始まります。
公園をご利用の際は、アオウミガメの産卵環境へのご配慮をお願いします。

小笠原諸島は日本最大の
アオウミガメの産卵地です!



アオウミガメ上陸跡

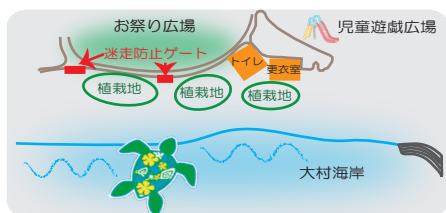


夜の海岸で産卵する
アオウミガメ

産卵巣の目印（三本棒）

ウミガメの産卵環境を守るため 公園をご利用の皆さまへ

- ・大村海岸園地側の植栽地は産卵巣が多いので、立ち入らないでください。
- ・産卵巣の目印（三本棒）には触らないようにしてください。
- ・産卵巣の上に設置された**稚ガメ迷走防止ネット**には触らずに静かに見守ってください。



稚ガメ迷走防止ネットとは?

大村海岸では、脱出した稚ガメが街の灯りに引き寄せられて迷走してしまうのを防ぐため、小笠原海洋センターが産卵巣の上にネットを設置しています。地上に脱出した稚ガメをネット内で保護し、保護した稚ガメは安全な環境で放流されています。



稚ガメ迷走防止ネット



地上に脱出し、ネットの中で眠っている稚ガメ

ウミガメ産卵見学時のお願い

- ◎ 懐中電灯などのライトは、カメに向けたり、海に向けたりしないでね。
- ◎ カメの前方には立たず、少し離れて、後ろから見守ってあげてね。
- ※ 夜間に海岸をお散歩される場合にもご協力をお願いします。

困っているウミガメを見つけたら…

小笠原海洋センター

☎ 04998-2-2830

夜間・早朝・繋がらない場合は
090-1461-3171

見ごろの園内植物

一日花

7月になり、本格的な夏がやってきます!
園内を散策される際は、水分補給を忘れずに行いましょう!

一つの花が咲いてからの寿命が、おおよそ1日の花のことを言います。
一般に一日花は次々に開花するものが多いです。

テリハハマボウ

島名: ヤマイチビ (固有種)

近縁のオオハマボウは、海岸に多く
テリハハマボウは山地型。オオハマボウと比べ、葉は毛がなくつるつるで小さめ。通年咲いているが、夏の方がよく咲いている。



オオハマボウ

島名: カイガンイチビ (広域分布種)

海岸近くに自生し、花は朝、黄色に咲き、夕方には橙色になり落花する。
近縁のテリハハマボウより葉が大きく、葉の裏に毛があり、ハート型をしている。



ゴバンノアシ

(外来種)

サガリバナ科だが、上向きに咲く。
夕方に咲きはじめ、朝には咲き終わる。果実が基盤の足に似ていることから、名前がついている。



ハイビスカス

(外来種)

亜熱帯を代表する花。島内のいたるところに街路樹として植栽されており、通年、咲いている。花の色は、赤が多いが白色や黄色のものもある。
レイ(首飾り)の材料としても使われる。



小笠原ビジターセンター・大神山公園サービスセンター

指定管理者 公益財団法人東京都公園協会

住所: 〒100-2101 東京都小笠原村父島字西町 小笠原ビジターセンター内

電話: 04998-2-7170

時間: 8:00 ~ 17:30 (12:00 ~ 13:30 休憩) 年中無休

